

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 3月 13日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
有限会社徳志会医療研究所	グループホーム輝の杜	認知症対応型共同生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	テクノスジャパンコールマットN・増設セット NHC-1P/MSR4-1200	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年 2月 13日	4台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ○認知症の利用者様の居室内トイレ前にセンサーマットを設置した。 ○転倒するリスク及びベッドから滑落リスクのある認知症の方や視力低下のある利用者様のベッド下に設置した。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① 5分 ② 1人 ③ 30日〕〔導入後：① 3分 ② 1人 ③ 30日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ○認知症の利用者様の居室内トイレ入口前にセンサーマットを設置することにより、排泄時に排泄の有無や色や形状が確認できるようになった。トイレへ汚物以外の物が入っていないか確認できるようになった。 ○夜間時、センサーマットがいち早く離床を検知することで、立ち上がりまでに対応できるようになり、心理的負担の軽減や事後の追加業務の発生を未然に防ぐことができた。見回りの効率化が図られ、時間に余裕ができた。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ○センサーが反応しない時があった。センサーマット設置位置と受信機の設置場所の距離を考えて正確に反応できるよう使用していきたい。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 3月 7日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 煌徳会	いなげ一倫荘	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	Wells リフトキャリーWCL-200	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年 2月 8日	1台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 3階特養フロアにて使用。2グループで共有し、週2回午前午後で合計6名様をリフトを使用し、入浴している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①35分②6名③24日〕〔導入後：①25分②6名③24日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 今まで職員2名体制で行っていた入浴介助がリフト導入により1名で行える様になったので、浮いた職員が他の業務が出来る様になった。また入浴作業時間も一人当たり10分程短縮され、作業効率が上がった。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 本体が重く、動かし辛いのもう少し取り回しが良くなると使い勝手がいいと思う。入居者様がリフトを用いて湯船に浸かると、肩まで浸かる事が出来ない。タオル等を掛け、シャワーを掛けて対応している。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年2月28日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 高木福祉会	特別養護老人ホームあすなろ	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①見守り	離床センサー バイシルバー バイネクスト BSR03NCHL	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年1月31日	6台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ベッド上で落ち着きの無い方、ベッド上からの動きが早いご利用者を対象に、 ベッドからの徘徊による転落転倒事故防止のために、毎日使用しております。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①60分/日 ②5人/日 ③30日〕〔導入後：①40分/日 ②3人/日 ③30日〕 ご利用者のベッドからの徘徊が瞬時に分かるようになり、徘徊からの転倒転落事故が4割ほど減りました。センサー導入により、スタッフの見回り回数が3割ほど減り、介護時間も3割ほど減りました。スタッフの労働軽減につながっております。また、間接負担として、コロナ過でのご利用者との接触回数も減り、クラスターへのリスクも減りました。夜勤スタッフにも好評で、台数を追加したいと思っております。導入しやすく、扱いやすく、誤作動が少ないのも現場で好評です。		
【介護ロボットの不都合な点】 誤作動が少なく扱いやすいので、とても便利です。ナースコールへの通知だけでなく、カメラと連動するなどして、スタッフが映像等でも確認出来れば、もっと負担軽減につながると感じました。また、全ベッドへ導入することで、ベッド間の移動作業もなく、更なる労働軽減につながると思います。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年2月7日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人福寿会	特別養護老人ホーム福寿園	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	コールマット・コードレス(HC-R MSR4-1200) ベッドコール・マットレス(BC-RN)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年1月12日	10台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 歩行・立位が不安定で、ベッドから自身で降りようとして転倒・転落のリスクが高いご利用者に対して、ベッドサイドやベッド上に設置し、日中や夜間の行動把握や見守り、事故予防を目的として使用している。また、夜間帯の人員が少ない時も、ご利用者が起きるタイミングを職員が把握でき、転倒・転落の防止に役立っている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① 320分 ② 2人 ③ 6.6日〕〔導入後：①160分 ② 1人 ③ 3.3日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 日中・夜間帯ともに、こまめな巡回によりご利用者の動きを把握していたが、コールマットやベッドコールの導入により、他のご利用者の対応中や他の業務を行っている時も、ご利用者の動きをいち早く確認できるため、転倒・転落事故を未然に防ぐことができ、職員の肉体的・精神的負担の軽減にもつながっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ベッドコールに関しては、ご利用者の寝返り等の動きでも感知してしまうため、ベッド上での動きが多い方（転倒転落の危険がない程度）に対しては頻回に感知してしまい、不向きであるため、ご利用者の身体状況や特徴、行動パターンに応じてベッドコール・コールマットの機種を選定する必要がある。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 3月 1日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 鼎	特別養護老人ホーム エコトピア酒々井 (ユニット)	介護福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	コールマット・コードレス	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年12月22日	4台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 立位・歩行が不安定で、かつ、ナースコールが押せないご入居者のベッド脇に設置し、トイレに行こうとベッドに足を下ろした際、ナースコールに連動しているため、特に夜間、ナースコールが鳴ったらすぐに居室へ訪室しトイレに誘導している。また、日中、部屋に戻ってベッドに横になる方も、居室の入り口に設置して、居室に戻ろうとするのを早めに察知し、移乗を職員が介助できるようにしている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 立ち上がる前に訪室出来るので、設置している方の転倒事故は起こっていない。また、そのことにより、特に夜勤の職員の精神的な負担を軽減できている。		
【介護ロボットの不都合な点】 センサーマットを何台か設置しており、ナースコールを押す方もいらっしゃるため、ナースコールが重なると、対応が遅れる事がある。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年3月31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
生活介護サービス株式会社	グループホーム ユーカリ新松戸	認知症グループホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①見守り ②見守り機器の導入に伴う通信 環境整備	①見守り介護ロボット aams B018-AAMSKS および 管理マスターサーバー、連動ネットワークカメラ ②Wi-Fi ルーターの設置 (ハブアッポ WAPS-1266)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年2月21日	①1台 ②一式	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 導入時に取り扱い説明会を実施し、毎日使用しております。主に看取りが必要な方、 落ち着きの無い方、新しく入居された方を対象に使用しております。パソコンだけで なく、タブレットやスマホでバイタルや体動、睡眠の質を見るのに使用しております。 異常時には、カメラの映像も見れますので、夜間時など重宝しております。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① 50 ② 8 ③ 30 〕〔導入後：① 35 ② 8 ③ 30 〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用 状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 主な効果としては、看取りの方の居室への訪問回数がかなり減りました。また、体調が数 字化出来ますので、医師やご家族と共有でき、精神的にもいざという時に備えることが出来 ます。夜間時の見回りも減り、職員に好評です。 出来れば、各フロアーに欲しいと思います。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 とても便利な機械ですが、設定などがなかなか覚えられない職員もいます。社内勉強 会など定期的に開催したいです。全ベッドに設置すればかなりの効果が期待できます が、費用的に厳しいです。補助金など有効活用して台数を増やしていきたいです。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年3月31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
生活介護サービス株式会社	グループホーム ユーカリ新松戸式番館	認知症グループホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①見守り ②見守り機器の導入に伴う通信 環境整備	①見守り介護ロボット aams B018-AAMSKS および 管理マスターサーバー、連動ネットワークカメラ ②Wi-Fi ルーターの設置 (ハブアッシャー WAPS-1266)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年2月21日	①1台 ②一式	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 導入時に取り扱い説明会を実施し、日々使用しております。看取りが必要な方、落ち着きの無い方、新しく入居された方を対象に使用しております。パソコンだけでなく、タブレットやスマホでバイタルや体動、睡眠の質を見るのに使用しております。異常時には、カメラの映像からも確認出来ますので、夜間スタッフからも好評です。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① 30 ② 6 ③ 30〕〔導入後：① 20 ② 5 ③ 30〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 主な効果としては、看取りの方の居室への訪問回数がかなり減り、労働軽減だけでなく、利用者の睡眠の妨げを防ぎ、接触回数も減りましたので、感染症リスクも減りました。体調が数字化出来ますので、医師やご家族と共有できるのも良いです。 夜間時の見回りも減り、職員に好評です。出来れば、全ベッドに欲しいと感じました。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 とても便利な機械ですが、設定などが苦手な職員もいます。社内勉強会など定期的 に開催していきます。全ベッドに設置すればかなりの効果が期待できますが、費用的に 厳しいですので、補助金を有効活用して台数を増やしていきたいです。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 3月 27日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団 葵会	介護老人保健施設 葵の園・柏	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	エスパシアシリーズ KA-N1411G ナースコール中継ユニット NU-3200	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 12月 9日	5台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ナースコールが押せず体動の激しい入居者にベッドからの転落、転倒防止のため見守り業務に活用している。離床頻度の高い入居者には、離床認知機能を早期の設定とし、特に夜間帯の見守り頻度の見直しに取り組んでいます。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① 5分 ② 2人 ③ 1日〕〔導入後：① 3分 ② 1人 ③ 1日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 入居者の「安心・安全・安楽」が保証され、不必要な訪室を避ける事により、プライベートな時間を保つことができ、見守り支援を行う介護職員も支援介護の軽減、精神的不安の解消ができています。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 現時点では特にありません。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 3月31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人双樹会	特別養護老人ホーム双樹苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	エスパシアシリーズベッド及びナースコール中継ユニット	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年 2月22日	3台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・動きのある利用者を対象として、ベッド上およびベッドサイドに設置し、利用者の日中及び夜間の行動を確実に把握することで、行動が予測可能となり、転倒及び転落等の重大な事故を抑止することができている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①60分 ②3人 ③30日〕〔導入後：①30分 ②3人 ③30日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・端座位や離床など利用者の状態に応じて検知して、ナースコールが鳴動することにより、効果的・効率的な見守りを行うことが実現し、利用者の行動を事前に確認することで、転倒及び転落等の重大な事故を未然に防止している。また、コードレスタイプなので、利用者が誤って足を引っ掛けて転倒する不安もなく安心して使用でき、日中は勿論のこと職員が手薄になる夜間においても、介護職員の精神的負担の軽減につながっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・特になし		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5 年 3 月 6 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 永春会	特別養護老人ホーム秋桜	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	ANSIEL	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5 年 1 月 23 日	10 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ネット・Wi-Fi 環境下であれば、パソコン・スマホ等で在床・入床・離床確認が行えるので、転倒・転落に対する心理的負担と、昼夜を問わず訪室しての巡回を軽減することで、他の作業を		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①15分/日 ②10人/日 ③ 毎夜 〕 〔導入後：①5分/日 ②10人/日 ③ 毎夜 〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 夜間帯の巡回頻度を減らすことで、夜間帯の職員負担が軽減している。入居者の居室に訪室することで「起こしてしまう」ことがあったが、パソコン・スマホで在床確認が行えるので、入居者の入眠を妨げなくなった。また、床敷のセンサーマットと違い、動作別通知が行えるので、入居者の状態に合わせて通知設定が行えている。 取り外し・設定の利便性が高く、移動が行いやすい。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 導入して日が浅いため、職員により運用の差がある。 Wi-Fi 環境の問題で、接続が切れてしまうこともある		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年3月21日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社舞浜倶楽部	舞浜倶楽部 富士見サンヴァ ー口	特定施設（介護付き有 料老人ホーム）
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠り SCAN	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年 2月28日	79台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ●全居室に導入。臥床時の呼吸数、脈拍、離床状況などが把握できるため日中・夜間のケアサ ービスに活用。 ●覚醒している入居者に合わせて起床ケアを行うなど、入居者の生活リズムを意識したケア ができるように進めている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①13分②1人/日 ③毎日〕〔導入後：①6分②1人/日 ③毎日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用 状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ●導入して日が浅く利用日数が少ないため定性的な報告となるが、夜間巡視時にはスマート ホン持参で状況を確認しながら訪室しているため巡視精度の向上が感じられる。 ●ターミナルに差し掛かった入居者の呼吸状態の変化等も色分けされたグラフで表示される ので、体調の微妙な変化の可視化が出来るようになった。 ●画面上で居室状況の確認ができるため、全般的に「緊急な動きが必要になった際の心の余裕 に繋がっている」と職員より発言あり。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 ●機器設置により部屋のコンセントに電源コードが増えた事を気にされるなど生活上、落ち 着かなくなる入居者もお入り入居者にあった丁寧な対応が必要（不都合な点というよりは留意 点）		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 3月 11日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人白百合会	しらゆり	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	① BC-RN ベッドコールコードレス ② コールマット・コードレス HC-R MSR4-1200	
介護ロボット導入時期	導入台数	① 1台
令和 5年 1月 10日	3台	② 2台
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
新規入所者や、事故発生リスクの高い入所者に多く使用している。低リスクの方には数日で使用を終了し、高リスクの方は常に使用するなど使用頻度は異なっている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① 720 ② 7 ③ 30〕〔導入後：① 360 ② 7 ③ 30〕		
異常があればセンサーが反応するので、その間に他の作業を行い業務の効率化に繋がっている。自身の危機管理が難しい方へリスク予防や車イスで自走してしまう方へ出入口に設置することでリスクの早期発見などに役立っている。		
【介護ロボットの不都合な点】		
フットセンサー、離床センサーにおいてそれぞれの特長を活かして活用しており、事故防止にとっても役立っている。職員の課題としてセンサーがあるからと頼ってしまい、自らの確認を怠ってしまうときがある。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年 2月/6日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人九十九里ホーム	特別養護老人ホーム松丘園	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠りスキャン (NN-1520)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年12月24日	10台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 導入後、対象者を定め使用開始している。見守り業務としてベッド臥床時には常時使用し、覚醒検知・起き上がり検知の機能を活用している。また、データとして睡眠と覚醒の状況を可視化でき、日中の覚醒状態に波がある方に対してのケアに活用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①30 ②6 ③30〕〔導入後：①10 ②6 ③30〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 日中・夜間を通して見守り機能を活用する事で、ピンポイントに訪室することが出来、限りある職員を効率良く対応する事に効果がある。 また、臥床時の睡眠・覚醒状態が可視化出来ることにより、日中の覚醒状態に波がある方のケアに対しての資料となっている。 看取りケアの方に使用する事で、異常の早期発見ができ、職員の不安感を軽減する事に繋がっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 特に不都合な点は見受けられない。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 3月 10日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人アコモード	特別養護老人ホームアクイール (従来型)	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠りスキャン	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年 2月 28日	8台	
【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・睡眠状況がわかるため、浅眠時の訪室を控えることで入所者の睡眠を妨げることが減った。 ・睡眠状況がわかるため、覚醒している入所者への夜勤帯のトイレ誘導がタイムリーになった ・2週間の睡眠日誌を通じて、不眠への対応を取れるようになった ・業務がスムーズに進むことで、職員が入所者と向き合う時間が増えた		
【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】 ① 1人あたり平均作業時間数 (分/日) ② 作業人数 (人/日) ③ 作業日数 (ひと月あたり) 〔導入前: ①1,680分 ②6人 ③30日〕〔導入後: ①840分 ②6人 ③30日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・浅眠者の覚醒やトイレ誘導の不発が減ることで夜間業務を効果的に進めることができた。 ・夜間業務を効果的に進めることで、レクリエーションの備品作成などの時間が増え、入所者の満足度向上に寄与する結果となった。 ・睡眠日誌により夜間帯に睡眠が少ない入所者がわかるようになり、日中の活動量を増やすなどの試みを実施することが可能になった		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 ・機械に不慣れな職員がいるため、時間をかけて全員が使用できるように対策したい ・睡眠データの運用は難易度が高いが、定期的な研修を受け、使いこなせるように進めていきたい。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 3月 10日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人アコモード	ユニット型特別養護老人ホームアクイール	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠りスキャン	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年 2月 28日	12台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・睡眠状況がわかるため、浅眠時の訪室を控えることで入所者の睡眠を妨げることが減った。 ・睡眠状況がわかるため、覚醒している入所者への夜勤帯のトイレ誘導がタイムリーになった ・2週間の睡眠日誌を通じて、不眠への対応を取れるようになった ・業務がスムーズに進むことで、職員が入所者と向き合う時間が増えた		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①2,280分 ②8人 ③30日〕〔導入後：①1,140分 ②8人 ③30日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・浅眠者の覚醒やトイレ誘導の不発が減ることで夜間業務を効果的に進めることができた。 ・夜間業務を効果的に進めることで、レクリエーションの備品作成などの時間が増え、入所者の満足度向上に寄与する結果となった。 ・睡眠日誌により夜間帯に睡眠が少ない入所者がわかるようになり、日中の活動量を増やすなどの試みを実施することが可能になった		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 ・機械に不慣れな職員がいるため、時間をかけて全員が使用できるように対策したい ・睡眠データの運用は難易度が高いが、定期的な研修を受け、使いこなせるように進めていきたい。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 3月 10日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人アコモード	特別養護老人ホームアコモード	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠りスキャン	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年 2月 28日	22台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・睡眠状況がわかるため、浅眠時の訪室を控えることで入所者の睡眠を妨げることが減った。 ・睡眠状況がわかるため、覚醒している入所者への夜勤帯のトイレ誘導がタイムリーになった ・2週間の睡眠日誌を通じて、不眠への対応を取れるようになった ・業務がスムーズに進むことで、職員が入所者と向き合う時間が増えた		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①4,200分 ②10人 ③30日〕〔導入後：①2,100分 ②10人 ③30日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・浅眠者の覚醒やトイレ誘導の不発が減ることで夜間業務を効果的に進めることができた。 ・夜間業務を効果的に進めることで、レクリエーションの備品作成などの時間が増え、入所者の満足度向上に寄与する結果となった。 ・睡眠日誌により夜間帯に睡眠が少ない入所者がわかるようになり、日中の活動量を増やすなどの試みを実施することが可能になった		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・機械に不慣れな職員がいるため、時間をかけて全員が使用できるように対策したい ・睡眠データの運用は難易度が高いが、定期的な研修を受け、使いこなせるように進めていきたい。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 3月 10日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人アコモード	グループホーム アンダンテ	認知症グループホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠りスキャン	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年 2月 28日	3台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・睡眠状況がわかるため、浅眠時の訪室を控えることで入所者の睡眠を妨げることが減った。 ・睡眠状況がわかるため、覚醒している入所者への夜勤帯のトイレ誘導がタイムリーになった ・2週間の睡眠日誌を通じて、不眠への対応を取れるようになった ・業務がスムーズに進むことで、職員が入所者と向き合う時間が増えた		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①1,080分 ②1人 ③30日〕〔導入後：①540分 ②1人 ③30日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・浅眠者の覚醒やトイレ誘導の不発が減ることで夜間業務を効果的に進めることができた。 ・夜間業務を効果的に進めることで、レクリエーションの備品作成などの時間が増え、入所者の満足度向上に寄与する結果となった。 ・睡眠日誌により夜間帯に睡眠が少ない入所者がわかるようになり、日中の活動量を増やすなどの試みを実施することが可能になった		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・機械に不慣れな職員がいるため、時間をかけて全員が使用できるように対策したい ・睡眠データの運用は難易度が高いが、定期的な研修を受け、使いこなせるように進めていきたい。		

(別紙 2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5 年 4 月 9 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人生活クラブ	生活クラブ風の村なつつらぼ	小規模多機能型居宅
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援	ベッドセンサ送信機一体型 TX-BS3	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4 年 12 月 16 日	1 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ○毎週 2 泊 3 日の泊りケア利用する利用者 A さんは、足元や歩行が不安定かつ認知症から見当識が乏しく、昼夜通してナースコールを押さずに頻回にトイレや目的のない歩行移動があるので、転倒しかねない。起き上がり行動がいち早くわかり、職員が傍で歩行介助できるようにベッドセンサを使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1 人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①15分 ②3人 ③20日〕〔導入後：①3分 ②2人 ③20日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ○ベッドセンサの反応があれば、駆けつける職員は昼も夜も一人で済む。ベッドセンサがなければいろいろな職員が見守りに入る必要があった。 ○ベッドセンサが鳴らなければ他利用者の対応中、利用者 A さんが歩き出すのでは？という不安や焦る気持ちが薄まり、落ち着いた気持ちで介助に当たれる。 ○利用者 A さんの転倒、怪我は起きていない。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ○特になし。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年3月23日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人市原福祉会	特別養護老人ホーム 第二ふるさと苑里休	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
コミュニケーションロボット	LOVOT デュオ	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年3月10日	1台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 使用する業務：コミュニケーション 使用頻度：毎日00：00～00：00 施設内空間を自動認識させ、徐々に行動範囲を広げていく *現在は、施設内の共有スペースに設置、認識動作作業中		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① ② ③ 〕〔導入後：① ② ③ 〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 コミュニケーションロボットの見た目、動き、反応を楽しみに、会いに行ってみようとしてご利用者の活動範囲が広がったように思える。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 特に問題なし		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年3月24日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人おかげさま	グループホーム夢ほ一む	認知症対応型共同生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
リフト付きシャワーキャリー	LS-500	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年1月26日	1台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・介護度が高い利用者様や介護拒否がある利用者様に対し、毎日使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①90～120② 1 ③ 30 〕〔導入後：①90～120② 1 ③ 30 〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・介護度が高い、または介護拒否があり今までシャワー浴しかできなかった利用者様が、シャワーキャリーを使用することで安全に湯船につかることができるようになった。 湯船に入らないシャワー浴と比較すると、作業時間は短縮していないが、ゆったりと湯船につかって会話することが利用者様・職員の高い満足度につながっている。 ・職員の腰への負担軽減だけでなく、入浴介助時の事故に対する不安軽減も図れている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 ・シャワーキャリー自体が重く、利用者様が乗っていなくても取り回しに力が必要。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年4月5日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
宗教法人阿弥陀寺	敬老園 サンテール千葉	介護付有料老人ホーム (特定施設入居者生活介護 事業者)
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守りセンサー	LASHC-sleep	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年12月 / 日	10 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・ベッドマット下に設置の為、24時間毎日使用 ・離床アラート・離床予測アラート 使用を転倒防止 ・看取り時の心拍モニター		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① ② ③ 〕 〔導入後：① ② ③ 〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・看取り時の徐脈アラート、頻脈アラート（心拍モニター）を利用し、訪室回数 を半分に減らすことが可能に。また、 ・退院後、介護フロアから離れた居室に一時滞在時のモニター を 観察が 可能となり、危険リスク軽減		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 機能的には問題なし。施設の通信環境に多少難あり。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5 年 3 月 27 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社リエイ	癒しのデイサービスあいのかわ	老人デイサービス事業 (通所介護)
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	入浴リフトホームィリフト LIT-401L	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5 年 3 月 14 日	1 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 使用頻度としては入浴業務にて毎日使用しております。1日5名前後の利用者様に使用。車イス移動や歩行介助必須、下肢可動域が狭く浴槽を跨ぐことが困難、あるいは転倒等事故のリスクのある方に対して使用しています。 また、普段は使用しない方であってもその日の体調等を加味して、職員が必要と判断した方に使用しています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① ② ③ 〕〔導入後：① ② ③ 〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 最新の入浴機器を導入することにより従来より効率的かつ安全に入浴を提供できるようになっています。 古い機器から新しい機器になることで、使用が必要な利用者の精査を改めて行うきっかけともなり、これまで使用していなかった方にたいしてもアプローチすることで、利用者様から安心して入浴できたとのお声も頂いています。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 現在のところ特にはありません。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5 年 3 月 27 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社リエイ	リハビリデイサービス柏	老人デイサービス事業 (通所介護)
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	入浴リフトホーミィリフト LIT-401R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5 年 2 月 2 日	1 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 使用頻度としては入浴業務にて毎日使用しております。1日5名前後の利用者様に使用。立位が取れない又は何かの身体的状況で浴槽を跨いで入浴することが不可能な利用者様に対して椅子型昇降機にて浴槽に入浴して頂いています。 また、普段は使用しない方であってもその日の体調等を加味して、職員が必要と判断した方に使用しています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数(分/日) ② 作業人数(人/日) ③ 作業日数(ひと月あたり) 〔導入前：① ② ③ 〕〔導入後：① ② ③ 〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 導入により、介助量が削減し介護職員の負担が軽減されました。 従来より効率的かつ安全に入浴を提供できるようになっています。 古い機器から新しい機器になることで、使用が必要な利用者の精査を改めて行うきっかけともなり、これまで使用していなかった方にたいしてもアプローチすることで、利用者様から安心して入浴できたとのお声も頂いています。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 現在のところ特にはありません。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5 年 3 月 27 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社リエイ	癒しのデイサービス野田	老人デイサービス事業 (通所介護)
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	入浴リフトホーミィリフト LIT-401L	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5 年 2 月 16 日	1 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 使用頻度としては入浴業務にて毎日使用しております。1日5名前後の利用者様に使用。車イス移動や歩行介助必須、下肢可動域が狭く浴槽を跨ぐことが困難、あるいは転倒等事故のリスクのある方に対して使用しています。 また、普段は使用しない方であってもその日の体調等を加味して、職員が必要と判断した方に使用しています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① ② ③ 〕〔導入後：① ② ③ 〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 最新の入浴機器を導入することにより従来より効率的かつ安全に入浴を提供できるようになっています。 古い機器から新しい機器になることで、使用が必要な利用者の精査を改めて行うきっかけともなり、これまで使用していなかった方にたいしてもアプローチすることで、利用者様から安心して入浴できたとのお声も頂いています。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 現在のところ特にはありません。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5 年 3 月 27 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社リエイ	癒しのデイサービス志津	老人デイサービス事業 (通所介護)
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	入浴リフトホームィリフト LIT-401L	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5 年 3 月 15 日	1 台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>使用頻度としては入浴業務にて毎日使用しております。1日5名前後の利用者様に使用。車イス移動や歩行介助必須、下肢可動域が狭く浴槽を跨ぐことが困難、あるいは転倒等事故のリスクのある方に対して使用しています。</p> <p>また、普段は使用しない方であってもその日の体調等を加味して、職員が必要と判断した方に使用しています。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① ② ③ 〕〔導入後：① ② ③ 〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>最新の入浴機器を導入することにより従来より効率的かつ安全に入浴を提供できるようになっています。</p> <p>古い機器から新しい機器になることで、使用が必要な利用者の精査を改めて行うきっかけともなり、これまで使用していなかった方にたいしてもアプローチすることで、利用者様から安心して入浴できたとのお声も頂いています。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>現在のところ特にはありません。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5 年 3 月 27 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社リエイ	癒しのデイサービスおゆみ野	老人デイサービス事業 (通所介護)
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	入浴リフトホーミィリフト LIT-401R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5 年 1 月 19 日	1 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 使用頻度としては入浴業務にて毎日使用しております。1日5名前後の利用者様に使用。車イス移動や歩行介助必須、下肢可動域が狭く浴槽を跨ぐことが困難、あるいは転倒等事故のリスクのある方に対して使用しています。 また、普段は使用しない方であってもその日の体調等を加味して、職員が必要と判断した方に使用しています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① ② ③ 〕〔導入後：① ② ③ 〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 最新の入浴機器を導入することにより従来より効率的かつ安全に入浴を提供できるようになっています。 古い機器から新しい機器になることで、使用が必要な利用者の精査を改めて行うきっかけともなり、これまで使用していなかった方にたいしてもアプローチすることで、利用者様から安心して入浴できたとのお声も頂いています。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 現在のところ特にはありません。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5 年 3 月 27 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社リエイ	癒しのデイサービス成田	老人デイサービス事業 (通所介護)
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	入浴リフトホームィリフト LIT-401R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5 年 2 月 17 日	1 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 使用頻度としては入浴業務にて毎日使用しております。1日5名前後の利用者様に使用。車イス移動や歩行介助必須、下肢可動域が狭く浴槽を跨ぐことが困難、あるいは転倒等事故のリスクのある方に対して使用しています。 また、普段は使用しない方であってもその日の体調等を加味して、職員が必要と判断した方に使用しています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① ② ③ 〕〔導入後：① ② ③ 〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 最新の入浴機器を導入することにより従来より効率的かつ安全に入浴を提供できるようになっています。 古い機器から新しい機器になることで、使用が必要な利用者の精査を改めて行うきっかけともなり、これまで使用していなかった方にたいしてもアプローチすることで、利用者様から安心して入浴できたとのお声も頂いています。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 現在のところ特にはありません。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5 年 3 月 23 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人長寿の里	行徳翔裕園	特定施設入居者 生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	リフト付きシャワーキャリー (型番: LS-310) 専用レール (型番: LTA-100)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5 年 2 月 17 日	1 台セット	
【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 個別浴槽に入浴支援機器 (リフト) を設置し、入浴業務の負担軽減になった。 使用頻度は、1日2~3人・週5~6日で稼働している。今まで浴槽へ入るために職員2人介助が必要であった場合にも1人で介助を行うことが可能となった。また、抱える・持ち上げる等の動作がなくなり、お客様・職員ともに身体への負担も軽減している。		
【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】 ① 1人あたり平均作業時間数 (分/日) ② 作業人数 (人/日) ③ 作業日数 (ひと月あたり) 〔導入前: ①約30分②約7人③20日~22日〕〔導入後: ①約20分②約5人③20~22日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ○体格の良いお客様も楽に入浴できるようになった。 ○つり上げ式のリフトではないため、お客様の不安がなくなった。(デモでつり上げ式を試用していた。) ○浴槽への出入りの際に職員2人介助が必要であった場合にも1人で介助を行うことが可能となり、また抱える・持ち上げる等の動作がなくなったため、お客様・職員共に身体への負担も軽減した。職員においては、2人介助のために駆け付ける必要がなくなったため一時的に見守りの場を離れたり、今行っている業務の手を止めることもなくなり、負担が軽減し、お客様の安全の確保にも繋がっている。		

【介護ロボットの不都合な点】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

○浴槽に入る際に、下肢を持ち上げないと引っ掛かってしまうため、職員が下肢を持ち上げなければいけない。

○もう少し職員が使用について慣れてくれば多少の改善は期待できるが、リフト設置に時間を要する。

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年3月22日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 野田みどり会	特別養護老人ホーム鶴寿園 (ユニット型)	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援システム	パラマウント 見守り支援システム (眠り SCAN)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年2月16日	18台	
【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ①昼夜の覚醒状況を把握し、日中の活動量を増やす。 ②呼吸、心拍を確認し終末期の入居者の体調を確認。 ③新規ご利用者様の行動、睡眠の確認。		
【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 終末期のケアにおける体調確認の見える化により、職員の心理的負担の軽減になっている。 また、夜間の覚醒状況がわかるので、排泄の予知に使用したり、先に訪室して事故を防ぐことができている。不要な訪室や入眠している方を起こしてしまうこともなく覚醒状況に応じて訪室しケアサービスを行うことができ個別ケアの観点から見ても介護従事者・ご利用者様、共に心理的なストレスの軽減が図れている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 ベッドに機器を設置することでご利用者様から、寝心地が悪くなった等の声は聞かれていない。 職員からも特に不都合や要望などの声はあがっていない。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年4月4日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社アンテック	ゆかり成田不動ヶ岡ガーデン ハウスさっちゃんの家	認知症グループホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	ベッドセンサーシステム タイプ C2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年3月16日	2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・導入より毎日利用しており、眠りが浅く離床率の高い2名の21時から翌朝の7時まで見守り設定を行っている。導入前は夜勤者が定期的に見回りをを行い、異常がないか確認をしていたが、センサーの感度を設定できるため、ベッドでの動きや離床をブザーやパソコンモニターで見守っている。離床の場合のみ部屋へ様子を伺うことにしている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① 60分 ② 1人 ③ 1.25日〕〔導入後：① 45分 ② 1人 ③ 0.94日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・定時の巡回を減らすことができ夜勤者の負担を減らすことができた。また、物音を立てる機会が減ったことと、眠りの質の管理機能がご家族等へ報告に後活用したいと考えている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・導入直後とのこともあり、現時点で不都合と感じる点はありませんが、センサーに依存しないよう気を付けたいと思います。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年3月31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 六高台福祉会	特別養護老人ホーム 松寿園アネックス (ユニット型)	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴介助	①セキスイ ウェルスリフトキャリー WLC-200	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年2月9日	1台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 午前と午後の入浴時間に、車いすの方を中心に、1日5～8名利用しております。 車いすから移乗して、洗い場で洗体後に、リフトによる浴槽での入浴という流れで使っております。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① 20 ② 2 ③ 25〕〔導入後：① 15 ② 1.5 ③ 25〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 3階で好評だった製品ですので、今回補助金を活用して2階の浴室にも設置しました。 ご利用者の介護度が年々増していき、入浴介助が大変になっていきますので、このリフトがとても役立っております。入浴時間の短縮と、職員の疲労軽減、ご利用者の転倒事故の軽減にも効果的です。入浴時間を短縮することで、ご利用者と職員のコミュニケーションの時間も増えました。解除する人数と時間が減ることで、感染症対策にも役立っております。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 とても便利な製品ですので、4階にも設置出来ればと思いますが、費用面が気になります。介護ロボット補助金がいつまでも継続すればとても心強いです。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 3月 23日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人南生会	みやぎ台南生苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	ペイシエントウォッチャー	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年 3月 1日	3台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 3台を見守りセンサーとして導入。退院後間もない方の状態把握、新規入居者様の状態把握に使用している。スマートフォンやタブレット、事務室のPCから様子を把握し、通知を受信することでタイミング良く転倒予防となる訪室ができています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① ② ③ 〕〔導入後：① ② ③ 〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ユニットケアで個室対応をしている際に、対象者様の様子がわかり「転倒させてしまうかもしれない」という介護職員の心理的ストレスが軽減されている。また、今までは気づけなかった夜間の行動や寝返りの状況を把握することができ、より入居者様のことを知ることができ職員の安心感につながっている。ケアに活かすことができ満足感にも繋がっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 センサーの設定の微妙な加減により、寝返りを打っただけで頻回に通知が来てしまうことがあった。ナースコールとPHSが連動しているため、センサー受信用のスマホと2台持ちになってしまっている。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年3月27日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人さつき会	特別養護老人ホーム老人ホーム袖ヶ浦菜の花苑	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り機器	エスパスアシリーズとナースコール中継ユニット	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年3月24日	10台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・ベッドからの転落防止のため、床にマットレス等を敷いて対応している方にセンサーベッドを使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①60分/日 ② 3名 ③31日〕〔導入後：①30分/日 ②2名 ③31日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・床センサーマットでは訪室した際に動き出して間に合わないことが多い利用者があり、起き上がりでセンサー反応あるため行動が把握でき、転倒のリスク軽減につながっている。 ・転落予防のために床にマットレスを敷いて対応していたが、センサーベッドを導入することにより、居住環境を清潔に保つことができている。 ・夜間帯の人員の少ない状況で、センサーベッドの反応で早期に利用者の行動を把握することができている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・現在の所、特に不都合なことはありません。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年4月28日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
有限会社センターキュア	療養通所介護事業所センターキュア	老人デイサービス事業 (通所介護等)
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	wells リフトキャリーWLC-200	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年 1月 20日	1台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 シャワー浴のみと浴槽を跨ぐことの大変だったご利用者様3名が、浴槽に入れるようになった。また、特浴対応だった利用者様1名が、リフトキャリー導入した事で寝たまま入る特浴から変更が出来た。 使用頻度は、利用者様利用日に合わせると月～金に各2名ずつ実施しています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（30分/1日2名）② 作業人数（1人/1日）③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①1名介助10分②1人/1日③20日/月〕〔導入後：①1名介助15分②1人/1日③20日/月〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 介護時間としては、浴槽に入れなかった方が入れるようになったため、その分の延長はありますが、利用者からは浴槽で温まれて気持ち良く入浴出来ると評価を頂いています。従業者からは、浴槽跨ぎの介助時に滑ってしまわないか不安だったが、その点が解消出来たことと介助量が軽減して身体負担が軽減したと回答あり。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 浴槽に入る際、足置きが短い為かなり膝を曲げて入る事になり、ご利用者様が窮屈な思いをすることがある（身長差にもよる）。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 4月 7日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
公益社団法人地域医療振興協会	介護老人保健施設市川ゆうゆう	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	KA-N1411J (エスパシアシリーズベッド)、ナースコール中継ユニット	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年 3月 17日	9台	
【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】 利用者がベッド上に立ち上がる行為やベッドからの転落がある為、現在よりも低床ベッドの導入を検討した。またベッドからの起床・離床動作に対して、早期の対応が求められる為、見守りシステムの検討をした。今回その両方の対応が可能なベッドと見守りシステムが一体化したものを導入した。		
【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】 ① 1人あたり平均作業時間数 (分/日) ② 作業人数 (人/日) ③ 作業日数 (ひと月あたり) 〔導入前: ①0分/日 ②0人/日 ③0日〕〔導入後: ①0分/日 ②0人/日 ③0日〕 導入後は現在までベッドからの転倒・転落はありません。見守りシステムの反応も以前使用していたセンサーよりも感度が良く、早期対応が出来ており、利用者がより安全に生活が出来ていると考えます。スタッフの業務効率も上がっていると考えます。		
【介護ロボットの不都合な点】 現在は特にありません。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年3月1日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 神聖会	特別養護老人ホームアンスリール	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①見守り	離床センサー バイシパ - バイネスト BSR03NCHL	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年1月30日	10台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ベッドから徘徊しそうなご入居者を選定して、そのベッドに設置して使用しており、徘徊による転落転倒の防止に大変役立っております。 頻度としましては、基本的には、ご利用者がベッドにいるときに使用しております。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①40分/日 ②3人/日 ③30日〕〔導入後：①25分/日 ②3人/日 ③30日〕 ご入居者のベッドからの徘徊が、いち早く分かるようになり、徘徊からの転倒事故がおよそ3割減り、夜間時の見回りの回数も4割ほど減りました。対象者のみでの調査でしたので、全体で導入すれば、より効果が得られると思います。スタッフの労働軽減につながっており、職員の離職率低下につながればと期待しております。また、コロナ過での接触回数を減らせることにも役立っておりもっと早く導入するべきと感じております。		
【介護ロボットの不都合な点】 とても便利な機器ですので、全ベッドに導入出来れば大幅な労働軽減につながりそうです。全ベッドに導入出来るまで、かなりの費用がかかりそうですので、介護ロボット補助金のような制度が今後もずっと続くのか心配です。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年2月 / 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
MEDICALIFE 株式会社	訪問介護のメディカライフ八千代	訪問介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	アンシエル 非接触型起き上り・離床センサー	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年12月15日	4台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・導入時にメーカーより勉強会を開催し、毎日使用している。 ・利用者の呼吸や心拍数をモニターで観察・確認できている。 ・転倒、転落、徘徊リスク防止のため使用。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①20分/日 ②4人/日 ③毎日〕 〔導入後：①10分/日 ②2人/日 ③毎日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 転倒・転落・徘徊等、目の離せない利用者に対し、見守りセンサーを使用することによりリアルタイムで利用者の状況が手持ちのピッチやパソコンで受信できるため、リスクに対して未然に対応ができる。 ヒヤリハットや事故が減少することにより、介護職員の精神的な安心につながっている。特に夜勤職員の不安の軽減となっている。今後は徘徊パターン、生活パターン、身体機能の把握等、幅広く活用していきたい。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。		

導入して間もないので、現状において職員全員が習得できるに至っていない。今後は社内間での研修や、メーカーを交えた定期的な研修が必要と考えている。

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年2月 / 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
MEDICALIFE 株式会社	訪問介護のメディカライフ市原	訪問介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	アンシエル 非接触型起き上り・離床センサー	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年12月15日	4台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・導入時にメーカーより勉強会を開催し、毎日使用している。 ・利用者の呼吸や心拍数をモニターで観察・確認できている。 ・転倒、転落、徘徊リスク防止のため使用。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①20分/日 ②4人/日 ③毎日〕 〔導入後：①10分/日 ②2人/日 ③毎日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 転倒・転落・徘徊等、目の離せない利用者に対し、見守りセンサーを使用することによりリアルタイムで利用者の状況が手持ちのピッチャーやパソコンで受信できるため、リスクに対して未然に対応ができる。 ヒヤリハットや事故が減少することにより、介護職員の精神的な安心につながっている。特に夜勤職員の不安の軽減となっている。今後は徘徊パターン、生活パターン、身体機能の把握等、幅広く活用していきたい。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。		

導入して間もないので、現状において職員全員が習得できるに至っていない。今後は社内間での研修や、メーカーを交えた定期的な研修が必要と考えている。

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年1月25日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人 SHIODA	介護老人保健施設やすらぎの郷	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援ベッドシステム	エスパシヤシリーズ (KA-N1411K) ナースコール中継ユニット (NU-3200)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 12月 21日	16台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 転倒リスクの高い方、夜間起き上がり、トイレ起床時の方に終日利用。 ナースコール連動で使いやすく体動や起き上がり等の動きを把握し転落、転倒を防止する為に見守りを行っている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① ② ③ 〕〔導入後：① ② ③ 〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 従来のベッドが1モーターの高さ調整のみのタイプでしたが3モーターで離床センサーはナースコールと連動する事により速やかな対応が出来、転落、転倒予防に対応出来、対象者へ安心して対応出来るようになった。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 操作方法等が複雑で慣れない職員もいたがそれ以外は特に不具合はありません。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 1月 25日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人信和会	グループホーム上埴生の郷	認知症対応型グループホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
センサーマット	コールマット N・スマート MSR4-1200 NHCSM-1	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年 1月 13日	4台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 転倒リスクが高い入居者様の臥床時転倒予防の為夜間就寝時や、日中静養時使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① 30分 ② 1人 ③ 毎日〕〔導入後：① 5分 ② 1人 ③ 毎日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 以前は転倒リスクの高い利用者様に対して職員が頻回に居室訪問していましたが、迅速な訪問対応が行えるようになった為事故を未然に防ぐことができ安全が保たれている。職員の精神的負担の軽減。業務負担の軽減にもなっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 現状で不都合なし。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 1月 25日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人信和会	グループホーム紅ばな	認知症対応型グループホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
センサーマット	コールマットN・スマート MSR4-1200 NHCSM-1	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年 1月 13日	2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。		
転倒リスクが高い入居者様の臥床時転倒予防の為夜間就寝時や、日中静養時使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① 30分 ② 1人 ③ 毎日〕〔導入後：① 5分 ② 1人 ③ 毎日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。		
以前は転倒リスクの高い利用者様に対して職員が頻回に居室訪問していましたが、迅速な訪問対応が行えるようになった為事故を未然に防ぐことができ安全が保たれている。職員の精神的負担の軽減。業務負担の軽減にもなっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。		
現状で不都合なし。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 1月 25日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人信和会	グループホームあかね雲	認知症対応型グループホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
センサーマット	コールマットN・スマート MSR4-1200 NHCSM-1	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年 1月 13日	2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 転倒リスクが高い入居者様の臥床時転倒予防の為夜間就寝時や、日中静養時使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① 30分 ② 1人 ③ 毎日〕〔導入後：① 5分 ② 1人 ③ 毎日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 以前は転倒リスクの高い利用者様に対して職員が頻回に居室訪問していましたが、迅速な訪問対応が行えるようになった為事故を未然に防ぐことができ安全が保たれている。職員の精神的負担の軽減。業務負担の軽減にもなっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 現状で不都合なし。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 1月 25日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人信和会	グループホーム風鈴花	認知症対応型グループホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
センサーマット	コールマットN・スマート MSR4-1200 NHCSM-1	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年 1月 13日	2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。		
転倒リスクが高い入居者様の臥床時転倒予防の為夜間就寝時や、日中静養時使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① 30分 ② 1人 ③ 毎日〕〔導入後：① 5分 ② 1人 ③ 毎日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。		
以前は転倒リスクの高い利用者様に対して職員が頻回に居室訪問していましたが、迅速な訪問対応が行えるようになった為事故を未然に防ぐことができ安全が保たれている。職員の精神的負担の軽減。業務負担の軽減にもなっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。		
現状で不都合なし。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 1月 25日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人信和会	グループホーム風鈴花おおたき	認知症対応型グループホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
センサーマット	コールマットN・スマート MSR4-1200 NHCSM-1	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年 1月 13日	2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。		
転倒リスクが高い入居者様の臥床時転倒予防の為夜間就寝時や、日中静養時使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① 30分 ② 1人 ③ 毎日〕〔導入後：① 5分 ② 1人 ③ 毎日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。		
以前は転倒リスクの高い利用者様に対して職員が頻回に居室訪問していましたが、迅速な訪問対応が行えるようになった為事故を未然に防ぐことができ安全が保たれている。職員の精神的負担の軽減。業務負担の軽減にもなっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。		
現状で不都合なし。		